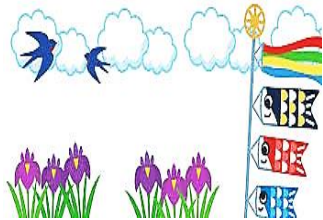




『マリアは封じられた泉であって
 聖霊はその泉から生きる水をくんで
 これによって渴きをいやせるように
 この泉を開いてくださいます』

(聖ルイ・マリー・グリニョン・ド・モンフォール)



お知らせ

5月のミサ
 5日(日) 第1日曜日
 19日(日) 第3日曜日

- ☆5/12(日) 鶴岡墓地ミサ
 カトリック鶴岡霊園にて 11:00
 参加希望者は直接墓地に行ってください
- ☆5/26(日) 分かち合いがありますので
 みことばの祭儀は10時からです
 分かち合い終了は12時です
- ☆4月1日付けで司教様より
 柿崎圭介さん・荻原 徹さん・西村浩太郎さん
 3名が引き続き2025年3月31日まで
 「聖体授与の臨時の奉仕者」に任命されました。

祈禱の使徒
 教皇の意向
 修道士・修道女と
 神学生の養成
 日本教会の意向
 子どもの成長

5月スケジュール	
5日(日) 復活第6主日 ミサ	
12日(日) 主の昇天 みことばの祭儀 鶴岡墓地ミサ 11:00	
19日(日) 聖霊降臨の主日 ミサ 話合い	
26日(日) 三位一体 みことばの祭儀 10:00 分かち合い	
ミサ・みことばの祭儀	11:30a.m.

5月朗読当番

5日 復活節6	先唱	荻原徹	19日 聖霊降臨	先唱	柿崎圭介
	第1朗読	今野幸子		第1朗読	高橋泉
	第2朗読	齋藤純子		第2朗読	佐藤浩子
12日 主の昇天	祭壇奉仕	西村浩太郎	26日 三位一体	祭壇奉仕	西村浩太郎
	第1朗読	折坂志津枝		第1朗読	折坂志津枝
	第2朗読	ヤグナ		第2朗読	今野幸子





母の日

母の日に文字通り、花を添えるカーネーション。

この花は、聖母マリアがキリストの処刑を見取って流れ落ちた涙の後に咲いたといわれる母性愛の象徴とされる花。

それで「母の日の使者」として選ばれました。

母の日の起こりは、1907年に米国のジャービスという少女の提唱により、初めは母親が健在な子供は赤、亡くなった子供は白の花を胸につけ、感謝の気持ちを表しました。

ある日、母を知らない少年に会いました。

実にしっかりとした考えと態度を示していました。

しかし私はこの少年に何か物足りなかった。

少年は感動することを知りませんでした。

ある日不良少年に会いました。

この少年の反抗的な態度には誰もが救いの手を止めてしまいました。

しかし私はこの少年の内に救いを発見しました。

母について語ったときの潤んだ目に・・・

母の日に何もプレゼントできない貧しい少年がいました。

私は少年に勧めた。「その日は、いつもより母に甘えるように・・・」

3日後にあった少年は得意満面でした。

継母に悩んでいる少年がいました。

よくしてくれる継母に感謝していながらも、

その気持ちが素直に表せない。母と子に距離がありました。

しかしある日から他人がうらやましがらるほどの親子になっていました。

それは少年が何気なく「お母さん」と呼んだ日からでした。

皆さん、キリストの御母マリア様に今も健在、またはこの世をすでに去った私たちの母を祝福下さるようお願いしよう！

そしてリンカーンの言葉を静かに味わいたい・・・

「私が今ここにあるのは、すべて母のおかげである・・・」

“All that I am, I owe it to my mother!”

(ドン・ボスコ社 ステファノ・デランジェラ
落葉「いい人生というために」より)

